

## 【第2回開催レポート\_さつま町観光未来研究室】

開催日時：2018年9月14日（金）14:00～17:00

場所：さつま町役場 別館3階 大会議室

出席者数：37名（欠席は11名）

内容：

### 1) 導入

- 前回の振り返り
- 皆さんへのお願いを共有
- ①積極参加をお願いします（反応3割増し）
- ②前向き参加（やわらか発言）
- ③リラックス参加（ストレスフリー）
- アイスブレイク

場と身体と緊張などをほぐしていくために、簡単なゲームを行う



### ●今日の目的の共有

まずは第2回の目的を共有。3時間の中で進めていくプログラムがそれぞれどんな目的のもとでやっているのかを都度確認していく。

- ①さつま町の現在を見つめる
- ②テーマごとに課題と資源を出し合う

### 2) 扱いたいテーマに分かれる（=今日の目的①研究室の目指すところを共有する）

事前に用意した13個のテーマについて、現段階で1人ひとりが扱いたい（関心のある）テーマについて分かれ、各テーブル4名ずつになるよう人数を調整する。

### ●テーマ一覧

- ①商店街活性化（空き店舗活用等）
- ②商品開発
- ③歴史・文化
- ④協働連携（つながりづくり・場づくり等）
- ⑤自然
- ⑥施設活用（広域公園、鶴田ダム、ちくりん村等）
- ⑦さつま町の食
- ⑧インバウンド（外国人観光客）
- ⑨温泉
- ⑩情報発信
- ⑪イベント関連
- ⑫交通インフラ
- ⑬観光

※事前にこちらで13個のテーマを用意。ここであがっているテーマは、第1回の最後、参加者の皆さんに記入いただいた「実現したいこと／さつま町に起こしたい変化」をもとに作成。

### 3) 理想の状態を言語化する（=今日の目的①さつま町の現在を見つめる）

「スコアキング」というワークを行う。

A3サイズのワークシートの中心には『あなたの実現したい理想の状況』『理想に対して現実...』と書かれた2つの枠がある。

#### 《Step1》

自分が選んだ取り扱いたい（関心のある）テーマについて、あなたの考える理想をイメージしてみる。

まずはワークシートの「あなたの実現したい理想の状況」について枠内に収まるように記入する。

|                |                |
|----------------|----------------|
| あなたの実現したい理想の状況 | 【理想に対して、現実...】 |
|                |                |

《Step2》右側の枠「理想に対して現実は...」について、枠内に収まるように記入する。

《Step3》

グループ内で自分が記入したワークシートを交換し、書かれた内容について質問を記入していく（質問については枠外のスペースを利用する）。アドバイスではなく、「質問」を通して理想を具体化していく。

（質問例）

なぜこうなったのか？どうすればそうなるか？／具体的にはどんなサービス？商品？どんな状態？／それが必要なのは誰？誰が困っている？ 等

《Step4》

3人から質問が記入されたワークシートが最終的に自分の手元に戻ってくる。記入された質問に対して、回答（自分の考え）を記入していく。

⇒さらにそれをグループ内で回していくことで、自分が質問した内容についての回答を読み、応援メッセージや協力できること等を記入していく。



《Step5》

ワークをやってみての感想をグループで共有する。

⇒「質問されたことに回答しているうちに自分の考え方が変わってきたように感じた」という感想あり。まさに、はじめに記入した「理想と現実」はあくまで抽象的かつ概念的であることが多い。そこを質問されることで具体化していく時間。かつ、口で話すのではなく、書き込んでいくことで頭も整理されていくし、手元に残っていくことがポイントのワーク。

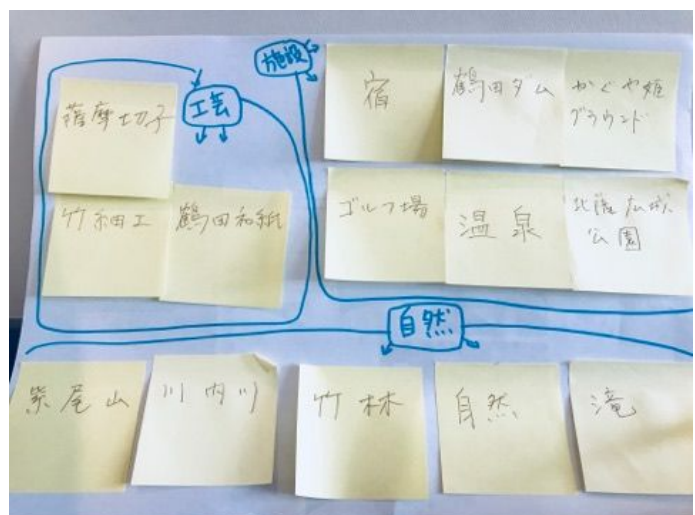
#### 4) テーマごとに課題と資源を整理する（今日の目的 ②テーマごとに課題と資源を出し合う）

《Step1》

①扱いたい（関心のある）テーマについて『活かせるかもしれないまちの資源』について考え、黄色の付箋に30個を目標に書き出す。

②書き出した付箋の近いものをまとめてグループ化する。

③グループに名前を付ける。



## 《Step2》

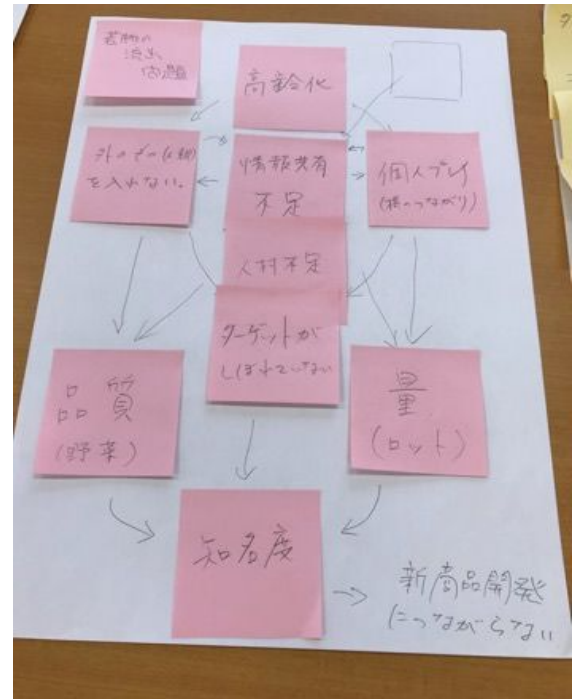
①扱いたい（関心のある）テーマが『抱えるまちの課題』について考え、桃色の付箋に書き出す。

②原因と結果を整理する。

あがってきた課題の付箋をもとに、課題の相関関係を整理する。課題に対して「なぜ（＝原因）」を追求しながら付箋をつなげていく。そのプロセスのなかで新たに課題や原因が出てきた場合は付箋を追加し、つなげていく。

③整理した状況にタイトル（「○○問題」）をつける。

私たちにどんな課題があるか、どんな課題が私たちの中にあるのか、ここで扱われる「課題」を言語化することが重要。



## 5) 今日の感想を共有

各グループで今日の感想を一人一言ずつ共有して終了。

当日の様子：



以上